

小川原湖プロジェクト 取組事例

取組名	甲地あおぞら水族館		
取組主体	甲地小学校	取組分類	学習・啓発活動
取組年月日	実施日：5月～10月	参加者数	甲地小4年.5年.6年生



取組の概要

- ・4年生 生態調査の実施
- ・5年生 採取した生物をビオトープに放流し生息地域とビオトープを比較
- ・6年生 ビオトープの環境整備や小川原湖の水草を観察これらを実施し、小川原湖の環境改善に対しての関心を高める。

〔学校部門〕

〔活動写真〕

助成番号	助成事業名	学校名・学校長氏名
2024-7213-010	甲地あおぞら水族館	青森県東北町立甲地小学校・熊澤 尚彦



フィールド：学校内（多目的教室）

日 付：6月4日

コメント：オリエンテーション

新年度をスタートするにあたり、総合的な学習の時間でどんな学習を進めていくか、オリエンテーションを行った。

パワーポイントを用いて、地域を流れる川や小川原湖の位置やどんな生き物が生息しているのかを確認した。また川にいる生き物についてどんなことを調べたいのか考えたり、話し合ったりした。

また、5、6年生から4年生へ、昨年度の活動について紹介したり、4年生の活動が次の学年の活動へつながっていくことも伝えたりした。また、総合的な学習の時間で、どんな力を高めたいのか話し合った。児童はとても楽しみにしているようだった。



フィールド：土場川周辺 排水路

日 付：6月18日

コメント：生き物採集1回目

「小川原湖自然楽校」の相馬孝さんをゲストティーチャーとして招き、土場川周辺の排水路で生き物採集を行った。

児童は、濁った水はきたないと予想しており、その中からたくさんの生き物が取れることに驚いていた。

今回の活動についても、とても楽しみにしていた。



フィールド：土場川周辺 排水路

日 付：6月18日（上記と同日）

コメント：土場川周辺排水路で採取した生き物の観察と記録

ゲストティーチャーに相馬孝さん(前出)を迎え、指標生物と環境の関係についての解説を聞くことができた。排水路で採取してきた生き物を観察し、それぞれの生き物の細かい体の特徴にも気付くことができた。また、動きの様子も観察することができた。そして、観察したことや細説を聞いて分かったことなどを、観察シートに記録した。

生き物たちは、相馬孝さんをお願いして元の場所に放してもらった。

注）写真は5～6枚程度（枚数が多くなっても、また複数ページになってもかまいません。）

助成番号	助成事業名	学校名・学校長氏名
2024-7213-010	甲地あおぞら水族館	青森県東北町立甲地小学校・熊澤 尚彦



フィールド：ビオトープ

日 付：7月12日

コメント：生き物採集2回目

「小川原湖自然楽校」の相馬孝さんをゲストティーチャーとして招き、ビオトープで生き物採集をした。

今年度は、5・6年生がビオトープの整備をすることや、来年度は自分たちがこのビオトープの整備を知り、とても楽しみにしていた。



フィールド：学校内（教室）

日 付：7月12日（上記と同日）

コメント：ビオトープで採取した生き物の観察と記録

「小川原湖自然楽校」の相馬孝さんをゲストティーチャーとして招き、採取した生き物の観察をした。



フィールド：学校内（講堂）

日 付：12月17日

コメント：総合発表会

一人一人が生き物についてまとめたことを、今年度の学習でお世話になった方々を招待して、発表会をした。自分たちが採集したり、飼育したりした生き物について調べ、分かったことをスライドを用いて紹介した。4年生の子どもたちは生き物に対する愛着をさらに深めることができた。発表会に向けて、生き物について調べたことを詳しくまとめていく中で、もっと深く知りたいという気持ちも高まった。また、5・6年生の活動を知ることによって来年度以降のビオトープ整備や地域の自然に関わる学習を楽しみにしていた。

注）写真は5～6枚程度（枚数が多くなっても、また複数ページになってもかまいません。）

〔学校部門〕

〔活動写真〕

助成番号	助成事業名	学校名・学校長氏名
2024-7213-010	甲地あおぞら水族館	青森県東北町立甲地小学校・熊澤 尚彦



フィールド：学校内（多目的教室）

日 付：6月4日

コメント：オリエンテーション

総合的な学習の時間でどのように学習を進めていくか、4～6年生が合同でオリエンテーションを行った。昨年度の取組やビオトープ改善の工夫について、6年生からアドバイスを受けた。また、4年生に、昨年度の活動の様子を知らせた。

昨年度の活動で、いろいろな生き物が生息していることを学習した。今年度は、ビオトープ環境保全のため、どんなことをしていったらよいか、5年生全員で話し合っ活動していくことを確認した。



フィールド：ビオトープ

日 付：6月11日

コメント：ビオトープ生物調査①

小川原湖自然楽校の先生に協力してもらいながら、ビオトープに生息している生物を捕まえ、観察を行った。

また、ビオトープの環境も観察した。

オリエンテーションで、6年生が外来種であるアメリカザリガニがたくさん生息していると言っていた通り、ザリガニがいることも確認した。

「今後、どのようにビオトープの環境を保持、改善していくか話し合いたい。」等の意欲的な発言があった。



フィールド：ビオトープ

日 付：7月2日

コメント：ビオトープ生物調査②

小川原湖自然楽校の先生に再度協力していただき、ビオトープにすむキタノメダカやモツゴの隠れ家を作った。みんなで話し合ったことをもとに、ブロックやパイプを使って隠れ家作りをした。

ブロックやパイプを置く場所や置き方について相談しながら、作業をしていた。次回ビオトープに来た時に、生き物が隠れ家にいるかどうか、楽しみにしていた。

注）写真は5～6枚程度（枚数が多くなっても、また複数ページになってもかまいません。）

助成番号	助成事業名	学校名・学校長氏名
2024-7213-010	甲地あおぞら水族館	青森県東北町立甲地小学校・熊澤 尚彦



フィールド：教室

日 付：8月29日

コメント：ザリガニ（外来種）のわなのしかけ作り

絶滅危惧種のキタノメダカなどの在来種を守るため、ビオトープに隠れ家を作ったが、それと同時に、外来種のアメリカザリガニの駆除をしようという話合いになった。

小川原湖自然楽校の先生にザリガニを駆除するために作り方を教えてもらって、わなのしかけを作った。

ザリガニがわなにかかった後に出てこないような工夫やえさについて話合いながら、活動した。

実際に作ったしかけをわなにしたら、ザリガニがわなにかかっていて、駆除することができた。



フィールド：ビオトープ

日 付：10月7日

コメント：ビオトープ生物調査③

ビオトープのガマが増えてきたので、これ以上増えすぎないように、種が飛んでしまう前に、ガマの穂を刈った。ビオトープの水質を保つためにと、みんな一生懸命に作業していた。

1年間の活動を通して、ビオトープの環境保全と改善について考え、話合い、実行することができた。



フィールド：講堂

日 付：12月17日

コメント：かっちこタイム発表会

これまで行った学習での成果と課題について、パワーポイントや劇など、班毎にいろいろな形で発表した。「キタノメダカの隠れ家」「アメリカザリガニの駆除」「ガマ刈り」「水質調査」について発表した。子供たちがもった疑問から、実際に活動計画を立て、活動したことについての成果や課題について、発表を聞いている人に向けて発信することができて、有意義な学習となった。次年度に継続できるような課題は、来年度の5年生にも伝えていき、交流の中で相談しながら、継続していきたい。

注）写真は5～6枚程度（枚数が多くなっても、また複数ページになってもかまいません。）

〔学校部門〕

〔活動写真〕

助成番号	助成事業名	学校名・学校長氏名
2024-7213-010	甲地あおぞら水族館	青森県東北町立甲地小学校・熊澤 尚彦

か かだいをみつけよう
つ ついきゅうしょう
ち ちいきにはっしんしょう

- ①自分で課題を見つけよう！
- ②自分から進んで学習しよう！
- ③どんどん考えをレベルアップ（深く・広く）させていこう！
- ④たくさんの人と関わりながら問題を解決していこう！
- ⑤発信しよう！

フィールド：学校内（多目的教室）

日 付：6月4日

コメント：オリエンテーション

新年度をスタートするにあたり、総合的な学習の時間でどんな学習を進めていくか、オリエンテーションを行った。

昨年度の取組の中で、ビオトープ整備を行った時の工夫について4、5年生に伝えた。

生き物を育てるということは、責任をもって世話や手入れをしていかなければならないこと、そのためにみんなで話し合っよりよい方法を考えていく必要があるということをも4、5年生にしっかりと伝えていた。



フィールド：ビオトープ

日 付：6月11日

コメント：ビオトープの整備

小川原湖自然楽校の先生に協力していただきながら、昨年度放流したり繁殖したりした生物の観察や、ビオトープを改善する活動を行った。

初めに、枯れたヨシを除去してビオトープをきれいにした。そこで、キタノメダカの子供が目視で確認できたことで、昨年度、自分たちが改善したビオトープが役立ち、生き物のすみやすい環境になっていることを実感していた。

5年生と共に活動し、昨年度の活動を5年生に伝えることができた。



フィールド：小川原湖

日 付：9月20日

コメント：カヌー体験

小川原湖自然楽校の相馬孝さんを講師として招き、小川原湖でカヌー体験を行った。初めに、陸上でライフジャケットについての説明やパドルの使い方の指導を行った。特に、安全には十分に気を付けるよう、指導した。その後カヌーに乗って小川原湖に出た。水上にはアサザやウキクサなどの水草があり、普段では見られない景色を堪能することができた。途中から風が強くなり、浅瀬で遊ぶことができなかったが、子供たちにとっては充実した活動となった。子供たちは、自分たちの住んでいる地域の自然の豊かさを改めて実感し、小川原湖をきれいに、大切にしていこうという気持ちをもつことができた。

注）写真は5～6枚程度（枚数が多くなっても、また複数ページになってもかまいません。）

[学校部門]

[活動写真]

助成番号	助成事業名	学校名・学校長氏名
2024-7213-010	甲地あおぞら水族館	青森県東北町立甲地小学校・熊澤 尚彦



フィールド：学区内（甲地地区）

日付：11月7日

コメント：ゴミ拾い

自分たちの住む東北町の環境を守っていき、町をきれいにしようと話し合い、ゴミ拾いを実践した。

当日は小雨が降っていたが、思っていた以上にゴミがあり、子供たちは驚いていた。二手に分かれて学区を回り、ゴミの種類を分けながら拾うことができた。

地域の環境を大切にするために、みんなに呼び掛けていきたいという気持ちを持ち、他学年に伝える方法を考えていた。



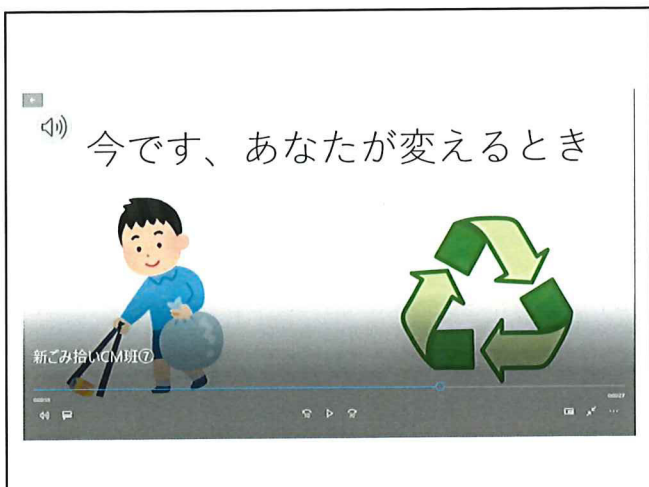
フィールド：学校内（体育館）

日付：12月17日

コメント：発表会

4～6年生が合同で、河川事務所などの専門家を招き、発表会を開いた。各学年が、今年度の取組や考えたことについて発表することができた。6年生は、3年間の取組で考えたことを、パワーポイントを用いて発表した。

特に、今年度の活動の中で、カヌー体験とゴミ拾いを通して考えたことを、3つの班に分かれて発表した。さらに、ゴミ拾いについてPRするためのCMも作成して披露した。そして、来年度、河川の学習をする3年生も招いた。学年間のつながりを大切にするのが、河川教育を継続的に行うことへとつながっていくので、来年度も続けていきたい。



【発表したパワーポイントの一部】

注）写真は5～6枚程度（枚数が多くなっても、また複数ページになってもかまいません。）